

Do You Know?

特集

矢板の子育て

雨の日でも子どもと遊べる場所ができたんだって!

# ちょっといいところ探してみました!

今号では、『子育て環境日本一』を目指す矢板市のその良いところ、自慢できるところを集めてご紹介します。「矢板で子育てをする」「矢板に来て子育てをする」そう思ってもらえるようなそんな市を目指しています。



矢板っていろいろやってるよね!



本ページの写真は、2月2日(火)に子育て支援センター(泉保育所)で行われた「おにはそと〜ふくはうち〜」の様子です。  
みんなで鬼のお面を作って、鬼退治あそび。そしておはなしを聞いて、おやつを食べて大満足!

# 数字で見る 矢板の子育て



県内では  
何番目くらいなの？

「矢板市の子育て施策ってどうなの？」  
「まんべんなくやってるような気もするな〜」  
矢板市の子育て支援策は、県内の自治体  
の中でも幅広く取り組んでいます。  
その中でも、キラリと光るものを  
いくつかご紹介します。



## 保育所の待機児童数

**1位**  
25市町中

待機児童とは、子育て中の保護者が保育所に入所申請をしているにもかかわらず、入所できない状態にある児童のことです。

**0**人

矢板市では、充実した保育所・保育園への助成などを行っているため、待機児童数が0人となっています。



## こども医療費助成の年齢

**1位**  
25市町中

お子さんが医療機関を受診した際に支払った保険診療分の医療費を保護者に対し助成する制度です。県内の25市町のうち、18歳まで助成しているのは、矢板市を含め9市町しかありません。

未就学のお子さんは、県内の医療機関に限り、医療費を支払わなくても診察を受けることができます。



小学生以降のお子さんは、一度医療機関でお支払いただき、子ども課窓口で申請をお願いします。

## パパママ応援サイト「ともな〜る」

県内  
ONRY  
**1**

「ともな〜る」は、婚活・結婚から妊娠・出産、子育てまでの情報配信とユーザー同士の意見交換の場として、無料でご利用いただけるサイトです。地域、民間、行政で未来&今のパパ・ママをサポートするために作りました。県内はもとより、全国でも自治体が主体となり、子育てに関する交流サイトを運営している例は、ほとんどありません。

サイトでは、結婚、妊娠、出産、子育ての段階によって、それぞれ異なるニーズに合わせた情報を提供しています。また「おしゃべり広場」では、利用者と行政、利用者同士が、情報交換でき、日々の育児の悩みやおススメのお店情報、遊び場の話などの投稿やそれに対するコメントが共有されており、どなたでも投稿することができます。投稿には会員登録

が必要ですが、登録すると市内店舗のクーポンなどの特典があります。

登録がまだの方は、ぜひ下記のQRコードからご登録をお願いします。



【ともな〜るサイト】

問い合わせ/  
子ども課 ☎ (44) 3600

## 一般診療所病床数

(人口10万人当たり)

**1位**  
25市町中

一般診療所とは、入院施設が全くないか、またはベッド数が19床以下の医療機関のことです。あくまで人口10万人あたりで、考えた場合ですが、矢板市はこの病床数が県内で一番多い結果になりました。



この病床数が多いという結果から、矢板市には何かあった時には何かあった時に、入院にも対応してくれるかかりつけ医のような一般診療所が多いと言えます。

## 一般病院数

(人口10万人当たり)

**2位**  
25市町中

一般病院とは、病床数が20床以上で、通院および入院診療で、一般的な治療が可能な患者を対象とする医療施設のことです。あくまで人口10万人あたりで考えた場合ですが、矢板市には、基幹病院である「国際医療福祉大学塩谷病院」などがあり、県内で2番目の数字となりました。



お子さんに、何かあった場合でも安心できるような一般病院があるということは、矢板市の自慢の一つと言えます。

## 「えほんるっく」 & 「セカンドブック」

県内  
ONRY  
**1**

「えほんるっく」は、矢板市のブックスタート事業の愛称です。市では、お子さんの10カ月健診の際に、絵本のプレゼントを行っています。赤ちゃんのここと心と心を育むためには、抱っここの温かさの中で優しく語りかけてもらう時間が大切です。ブックスタートは、その楽しく心安らぐひとときを「絵本」を通して持つことを応援し、赤ちゃんと保護者の幸せを願って行われています。

また、市では「えほんるっく」のフォローアップ事業として、「セカンドブック」を行っています。この事業では、2歳の誕生日を迎えられたお子さんに、図書館で絵本をプレゼントをしています。お家での絵本の読み聞かせで、楽しい時間を分かち合うことにより、親子の絆はさらに深まり、これからの健や

かな成長に繋がります。お子さんと一緒に図書館に来館いただければ、お子さんのための「図書館利用者カード」もお作りします。

「セカンドブック」は、本のプレゼントを通じて、心の成長を願う県内唯一取り組みであると言えます。



# ついにオープン! こどものひろば



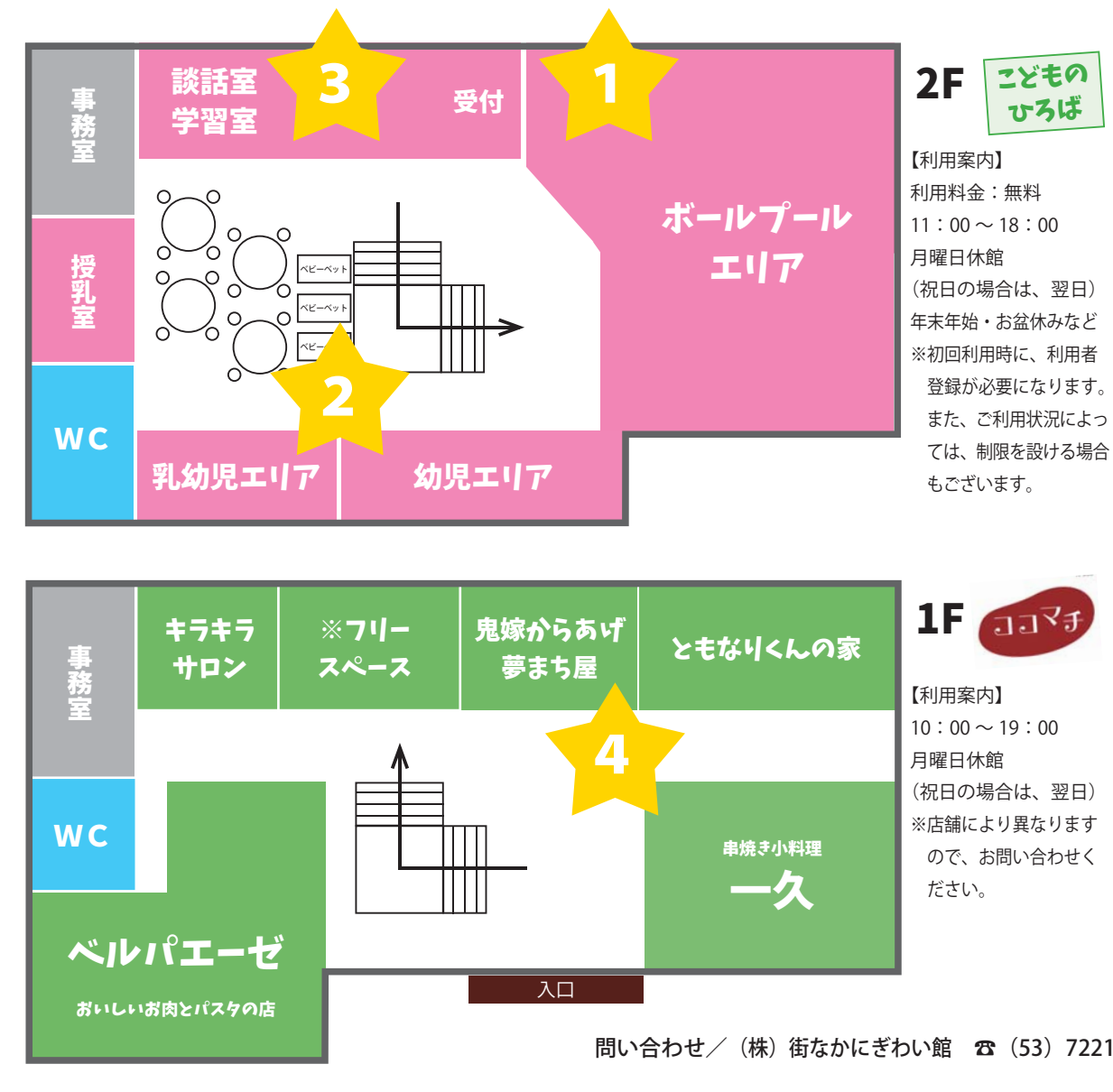
雨の日でも、  
3つのエリアで  
楽しく遊べるよ♪

矢板駅からも  
商業施設からも  
近くにあるよ♪

ただ遊ぶだけではなく  
集った人たち同士で  
交流して、たくさん  
お友だちをた作ろう!

市では、平成25年度に市民のみなさんに対して、子育てに関する生活の実態や要望、意見などを聴くアンケート調査を実施しました。その中で、最も多かった意見が、子どもの遊び場に対する要望でした。  
「雨の日に遊ばせるところが欲しい」「大田原のトコトコのような場所があったらいいの

に・・・」など、多くのご意見をいただき設置場所を検討してきました。  
そして、商業施設とも隣接し、駐車場も確保できる、矢板駅東のココマチの2階に「こどものひろば」をオープンしました。  
無料で利用できますので、1人でも多くの方のご来場をお待ちしております!



## 1 北関東で1番大きなボールプール!



ボールプールエリアは、北関東最大級の広さで、2万7,000個のボールが入っています。受付で利用者登録するだけで、小学生以下のお子さんは、無料で遊ぶことができます。小さいお子さんに注意しながら、みんなで仲良く楽しく遊びましょう。

## 2 飲食スペースが併設 乳幼児・幼児エリア!



同世代のお子さんを持つ保護者同士が気軽に交流できるように、乳幼児・幼児エリアには、ベビーベッドやカフェエリアを併設しました。お昼ごはんやおやつので、どうぞ自由にお使いください。

## 3 談話室・学習室で勉強や打ち合わせもできます!



テーブルや椅子が用意された談話室・学習室は、自由に使うことができますので、上のお子さんも勉強をするなど、一緒に過ごすことができます。ちょっとした会議や打ち合わせをするのにご利用ください。

## 4 晩ごはんのおかずも... お店で注文可能!



こどものひろばがあるココマチ1Fには、お弁当やからあげ、とまなりくん焼き、焼き鳥などのお店が入っています。遊ぶ前に注文して、帰りに受け取ることもできるので、晩ごはんもこれで安心です。